

# 特集

救急医だから学びたい

# こころの病気 こころの薬

いわゆる「精神科救急」については、本誌でもこれまで幾度か特集テーマとして取り扱ってまいりました。その内容を振り返ってみると、いずれの既刊においても、精神科救急の体制・連携といったシステム論や、特徴的な症候を踏まえた対応論がメインであり、それは救急領域の他雑誌等でも同様の傾向にあると思われます。

そのことはすなわち、「救急診療における精神科的な対応では、疾患個別の治療というよりも、患者の状態・症候・背景に応じた適切な対応が重要」という一般論を示していると受け取れますが、一方で、その「適切な対応」のためには、精神疾患に関する正しい理解や最新の知見が求められることも、また事実であると考えます。

そこで今号の特集では、上記のような方向性ではなく、あえて言うならばシンプルに、救急診療で遭遇し得る主な精神疾患や、比較的扱うことの多い向精神薬について、詳しく解説いただく特集を企画いたしました。それぞれ、原稿をご執筆いただいたのは、精神科領域あるいはその疾患をご専門とするエキスパートの先生方です。その丁寧な解説により、基礎的な知識から、普段あまり触れられない最新・専門的な知識、そして救急対応時の留意点まで、幅広くキャッチできる特集号に仕上りました。

精神科救急の基本的な対応に加えて、患者一人ひとりを取り巻く疾患と環境の特殊性を考慮したより適切な対応の実現に、本特集号が少しでも役立つことを願っております。